

PROFILE SHEET

氏名 篠原 靖 (しのはら やすし)

所属 跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部

役職 准教授

専門 地域連携、ブランド化、その他（新たなチャレンジ！インバウンド受入体制構築に関する指導）

活動地域 全国



自己紹介

1981年 中央大学商学部卒業 同年 東武トラベル株式会社入社
30年間に渡り旅行業全ての業務（商品企画開発・プロモーション・人事・教育等）を幅広く経験。
2008年 内閣府地域活性化伝道師第一期生として就任（現在に至る）
2009年 総務省地域力創造アドバイザー第一期生として就任（現在に至る）
2010年 跡見学園女子大学マネジメント学部 観光マネジメント学部 准教授就任
2013年 観光庁 「外国人旅行者地域資源の意識調査事業」検討委員会座長
2014年 観光庁 「インバウンドテーマ別観光による地方誘客事業」有識者委員
2015年 総務省 「インバウンド観光客誘致海外情報発信事業」有識者委員
2024年 観光庁 「地域観光資源新発見事業」有識者委員

- ★省庁の委員や全国各地の観光関連委員等を多数歴任
- 専門研究分野は「観光による地域活性化論」、「インバウンド交流人口拡大論」

実績

●政府の観光政策は今や数を追う観光から観光消費額を向上させる政策（稼ぐ観光）へ転換している。合わせ三大都市圏を中心としたインバウンド観光の流動を、地方部にいかに分散させるかということが大きな課題になっている。

●小職が得意とする支援分野は、今まで観光とは無縁であった全国自治体の観光資源を掘り起こし顧客価値を向上させ、イベントで終わらせる事なく通年での観光客の受け入れ体制の構築を行う事、更にはインバウンド観光への対応を促進しながら地域経済と観光を融合させる政策実現の具体的なシナリオ作成を得意としている。

●更には観光庁が推進している観光まちづくり法人DMOの設置や運営の課題解決についての研究も進めている。

●真剣に観光による経済再生を推進したいと考えている全国の自治体や民間事業者の皆さんへベストな推進シナリオ提示します。

現在、全国各地で新しい観光プログラムの開発や人材育成セミナーを担当し、広域観光圏やDMO組織構築、インバウンド戦略、ニューツーリズムによる集客システムの開発等を手がけている。また国土交通省「社会資本整備審議会委員」、観光庁：「外国人旅行者に対する地域資源の意識調査事業」検討委員会座長、『テーマ別観光による地方誘客事業』有識者委員等を歴任

Web -

連絡先 ys_project_shinohara [アットマーク] ybb.ne.jp